



平成 20 年

雫石町観光客入込調査報告書



鳥越の滝

雫石町産業振興課観光推進室



1. 観光レクリエーション客の入込動向

概況

平成20年の観光レクリエーション客の入込数は、2,657,694人回となり、対前年比7.1%の減となった。四半期ごとにみると、1～3月は、良好な降雪量に恵まれた岩手雪まつりが、雪不足の前年に比べて33.6%の増となるなど、前年の1～3月に比べて4.4%の増となった。

4～6月は、4月20日に葛根田地熱発電所付近で発生した大規模な土砂崩れの影響で、県道西山生保内線が通行止めとなり（6月20日より滝ノ上温泉まで通行可能）滝ノ上地区の入込数は、前年の4～6月に比べて6千人回の減となった。また、4～5月は、温暖な天候に恵まれたことや、NHK「どんど晴れ」の影響などで前年並みに推移したものの、6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震の影響で、前年の4～6月に比べて3.7%の減となった。

7～9月は、7月24日に沿岸北部を震源地とする地震が発生。6月の地震とあわせた風評被害、ガソリン価格の高騰等により消費者心理が冷え込んだ。また、「夏まつりin小岩井」が雨天のため50.0%の減となったほか、前年の北東北デスティネーションキャンペーンの反動などがあり、前年の7～9月に比べて20.1%の大幅な減となった。

10～12月は、原油価格高騰は一段落しガソリン価格も落ち着きをみせたが、サブプライム問題が世界規模で実態経済に影響を与え始めた。米証券大手リーマン・ブラザーズの経営破たんに加え、10月下旬には日経平均終値が7162円90銭とバブル崩壊後最安値を更新するなど世界中で株価が暴落した。このような中で、7～9月期の入込みからは回復をみせたものの、前年の10～12月に比べて6.9%の減となった。

発地別では、県内客が5.7%、県外客が9.1%の減となった。また、日帰宿泊別では、日帰り客は6.2%、宿泊客は10.6%減少した。

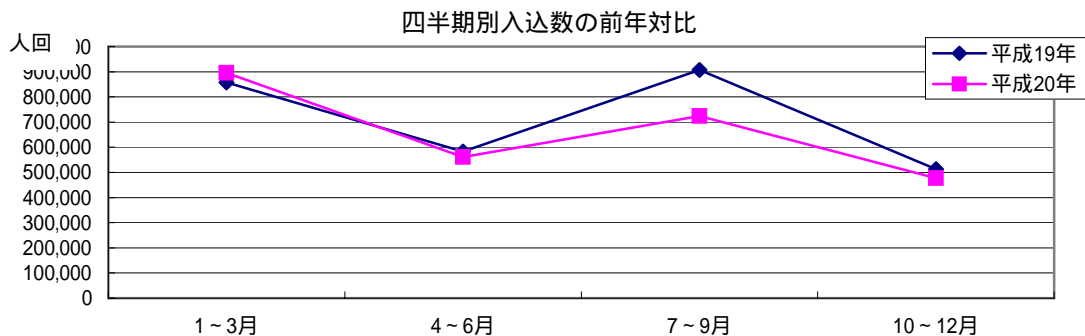
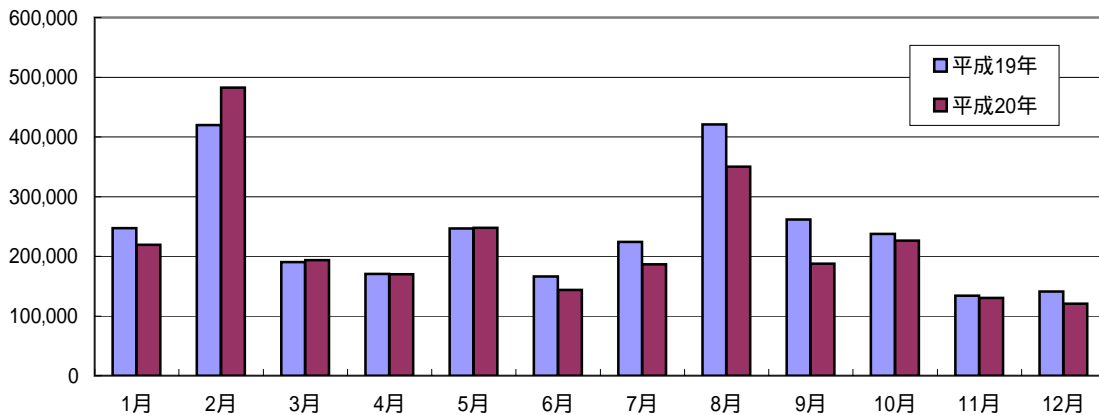
地区別では、土砂崩れの影響で営業再開が遅れた滝ノ上地区が44.9%、鶯宿地区が14.5%の減になるなど、ほぼすべての地区で減少した。

資源別では、岩手雪まつりの入込数が順調であったため、人文系観光資源（行祭事）が増加したが、自然系観光資源（温泉など）、野外活動施設（スキーなど）が減少した。

県外教育旅行客の入込数は、生徒数及び学校数ともに増加した。

外国人観光客の入込数は、世界的な景気減速と円高等が影響して、前年に比べて15.3%の減少、34,438人回となり、5年ぶりに前年を下回った。

人回 月別入込数の前年対比



	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	計
平成19年	857,867	583,052	906,790	512,543	2,860,252
平成20年	895,205	561,243	724,091	477,155	2,657,694
前年比	104.4%	96.3%	79.9%	93.1%	92.9%

3. 観光地年別入込状況

観光地名		16		17		18		19		20	
		人	対前年比 %	人	対前年比 %	人	対前年比 %	人	対前年比 %	人	対前年比 %
小岩井地区	日帰	794,264	92.5	820,761	103.3	863,339	105.2	805,788	93.3	779,667	96.8
	宿泊	16,185	97.5	20,117	124.3	18,413	91.5	14,702	79.8	7,664	52.1
	計	810,449	92.6	840,878	103.8	881,752	104.9	820,490	93.1	787,331	96.0
長山地区	日帰	439,389	99.9	518,074	117.9	466,692	90.1	528,401	113.2	497,388	94.1
	宿泊	87,912	104.1	75,651	86.1	90,245	119.3	87,229	96.7	86,941	99.7
	計	527,301	100.5	593,725	112.6	556,937	93.8	615,630	110.5	584,329	94.9
鶯宿地区	日帰	539,735	102.4	541,031	100.2	542,834	100.3	498,609	91.9	418,921	84.0
	宿泊	298,168	88.7	299,836	100.6	296,817	99.0	302,480	101.9	266,077	88.0
	計	837,903	97.1	840,867	100.4	839,651	99.9	801,089	95.4	684,998	85.5
国見地区	日帰	170,478	107.0	162,867	95.5	155,870	95.7	155,939	100.0	146,831	94.2
	宿泊	5,656	100.7	5,416	95.8	8,486	156.7	8,846	104.2	7,598	85.9
	計	176,134	106.8	168,283	95.5	164,356	97.7	164,785	100.3	154,429	93.7
滝ノ上地区	日帰	6,664	88.7	12,001	180.1	12,916	107.6	28,745	222.6	15,753	54.8
	宿泊	296	1096.3	565	190.9	645	114.2	872	135.2	565	64.8
	計	6,960	92.3	12,566	180.5	13,561	107.9	29,617	218.4	16,318	55.1
玄武地区	日帰	6,108	101.3	10,926	178.9	10,851	99.3	9,633	88.8	9,338	96.9
	宿泊	1,069	63.3	6,123	572.8	8,854	144.6	10,122	114.3	8,759	86.5
	計	7,177	93.0	17,049	237.6	19,705	115.6	19,755	100.3	18,097	91.6
西根地区	日帰	244,931	88.8	218,945	89.4	167,150	76.3	164,819	98.6	166,614	101.1
	宿泊	135,698	95.4	148,743	109.6	159,512	107.2	135,029	84.7	122,590	90.8
	計	380,629	91.0	367,688	96.6	326,662	88.8	299,848	91.8	289,204	96.5
その他地区	日帰	66,788	94.0	83,049	124.3	112,820	135.8	105,098	93.2	119,914	114.1
	宿泊	123	128.1	2,876	2338.2	2,719	94.5	3,940	144.9	3,074	78.0
	計	66,911	94.0	85,925	128.4	115,539	134.5	109,038	94.4	122,988	112.8
合計	日帰	2,268,357	96.7	2,367,654	104.4	2,332,472	98.5	2,297,032	98.5	2,154,426	93.8
	宿泊	545,107	92.9	559,327	102.6	585,691	104.7	563,220	96.2	503,268	89.4
	計	2,813,464	96.0	2,926,981	104.0	2,918,163	99.7	2,860,252	98.0	2,657,694	92.9

【小岩井地区】

「岩手雪まつり」は、良好な降雪により増となった。

「夏まつりin小岩井」は雨天のため、50.0%の減。

前年度の北東北デスティネーションキャンペーンの反動による減。

入込数は、前年に比べ日帰 3.2%、宿泊は、宿泊施設の廃業等により 47.9%、計 4.0%となった。

【長山地区】

入込数は、前年に比べ日帰 5.9%、宿泊 0.3%、計 5.1%となった。

【鶯宿地区】

入込数は、前年に比べ日帰 16.0%、宿泊 12.0%、計 14.5%となった。

【国見地区】

入込数は、前年に比べ日帰 5.8%、宿泊 14.1%、計 6.3%となった。

【滝ノ上地区】

4月20日に葛根田地熱発電所付近で発生した大規模な土砂崩れの影響で、県道西山生保内線が通行止め。

滝ノ上温泉の営業再開が遅れた。(冬期間通行止め解除通常5月上旬。6月20日より滝ノ上温泉まで通行可能)

入込数は、前年に比べ日帰 45.2%、宿泊 35.2%、計 44.9%となった。

【玄武地区】

入込数は、前年に比べ日帰 3.1%、宿泊 13.5%、計 8.4%となった。

【西根地区】

入込数は、前年に比べ日帰1.1%の増、宿泊 9.2%、計 3.5%となった。

【その他地区】

歴史民俗資料館、ファミリーマラソン、ウォータージャンプ及びどよの夕市を調査ポイントに加えた。

入込数は、前年に比べ日帰14.1%の増、宿泊 22.0%、計12.8%の増となった。

4. 観光資源別入込状況

観光資源別では、人文系観光資源（行祭事）が増加した。これは、北東北デスティネーションキャンペーン（食と観光フェスタ）の反動で大幅な減があったものの、岩手雪祭りが良好な降雪量に恵まれたこと等により増加となった。

一方で、自然系観光資源（温泉など）、野外活動施設（スキーなど）が減少した。自然系観光資源のうち温泉は、前年対比で長山地区が 5.7%、鶯宿地区が 9.5%、国見地区が 8.1%で、土砂崩れの影響で営業再開が遅れた滝ノ上地区は、48.0%となるなど、全体では 7.8%となった。また、野外活動施設（スキー以外）は、国見地区（駒ヶ岳登山等）が21.1%増加したものの、小岩井地区が 9.0%、鶯宿地区（けんじワールドの期間営業等）が 18.9%、滝ノ上地区（登山等）は、42.4%など、全体では 11.8%となった。

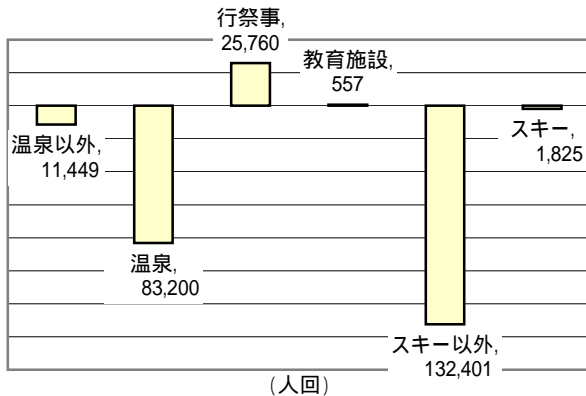
観光資源別入込数

(人回)

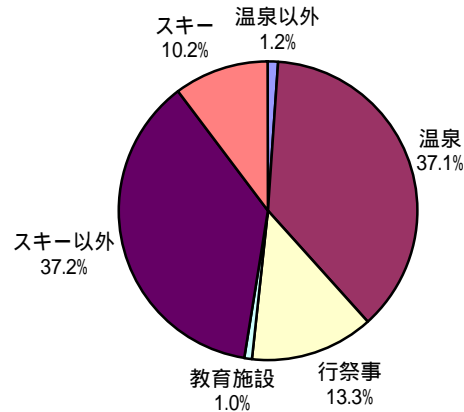
	自然系観光資源		人文系観光資源	展示見学	野外活動施設		合計
	温泉以外	温泉	行祭事	教育施設	スキー以外	スキー	
平成20年	32,193	984,841	354,723	26,572	987,615	271,750	2,657,694
平成19年	43,642	1,068,041	328,963	26,015	1,120,016	273,575	2,860,252
前年差	11,449	83,200	25,760	557	132,401	1,825	202,558
対前年比	73.8%	92.2%	107.8%	102.1%	88.2%	99.3%	92.9%
構成比 (H20)	1.2%	37.1%	13.3%	1.0%	37.2%	10.2%	100.0%

野外活動施設（スキー以外）には、けんじワールド（森のしずく）、屋内温水プール、登山などを含む。

資源別入込数の対前年比



資源別入込数の構成比



主な行祭事の入込数と対前年比

(人回)

行祭事	H20	H19	差引	前年比
岩手雪まつり	302,000	226,000	76,000	133.6%
いわて夏まつり in 小岩井	3,500	7,000	3,500	50.0%
食と観光フェスタ	0	50,000	50,000	皆減
軽トラ市	20,000	17,200	2,800	116.3%
よしゃれ祭	5,200	5,800	600	89.7%
産業まつり	18,000	17,000	1,000	105.9%

5. 利用交通機関の状況

観光レクリエーション客の利用交通機関は、主に自家用車で75.2%ある。団体旅行よりも個人旅行が主体だといえる。

(人回)

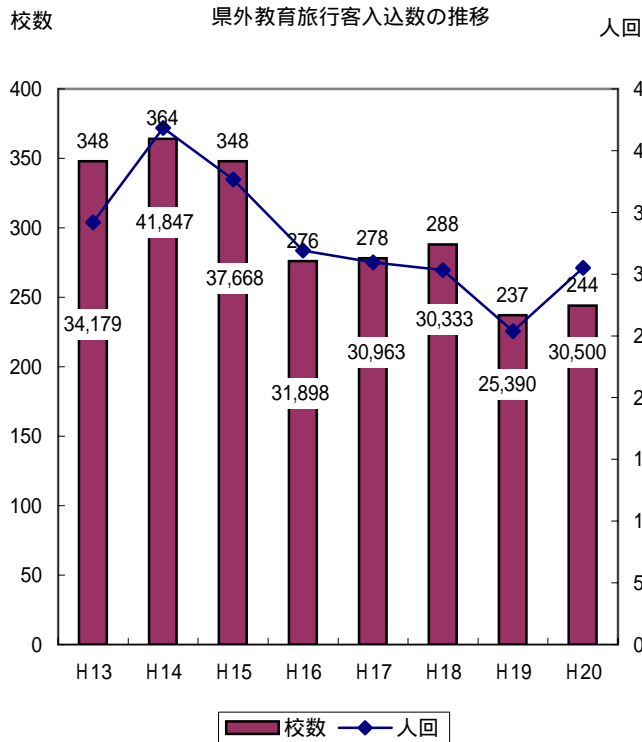
	定路線交通機関	貸切バス	自家用車	その他	合計
平成20年	89,500	357,346	1,998,952	211,896	2,657,694
構成比 (H20)	3.4%	13.4%	75.2%	8.0%	
平成19年	78,204	470,223	2,010,947	300,878	2,860,252
構成比 (H19)	2.7%	16.5%	70.3%	10.5%	
前年比	114.4%	76.0%	99.4%	70.4%	92.9%

6. 県外教育旅行客の入込状況

県外教育旅行客は、学校数が延べ244校、生徒数が30,500人回となり、前年と比較すると、生徒数及び学校数ともに増加した。

県外教育旅行客の内訳は、中学生が最も多く、全体の62.7%を占めている。地方別にみると、関東地方が最も多く、全体の42.5%を占めているほか、次いで東北地方が27.9%、北海道が17.4%となっている。

学校数の内訳をみると、中学校が142校、高校が54校、小学校が44校で、学校数を地方別にみると、東北地方が115校（宮城県56校）、北海道が55校、次いで、関東地方が52校となっている。



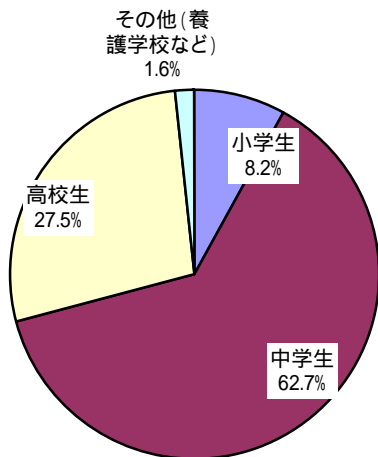
学校数（内訳）

小学校	44
中学校	142
高校	54
その他	4
計	244

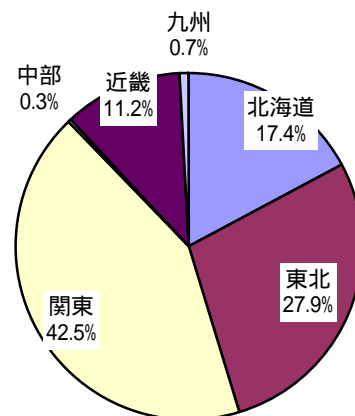
学校数（地方別）

北海道	55
東北	115
関東	52
中部	2
近畿	19
中国	0
四国	0
九州	1
計	244

県外教育旅行客の入込割合



県外教育旅行客の地方別割合



7. 外国人観光客の入込状況

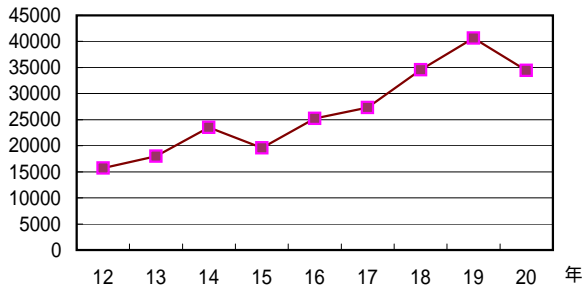
外国人観光客の入込数は、前年に対して15.3%の減少、34,438人回となり、5年ぶりに前年を下回った。

四半期ごとにもみると、1～3月は、韓国からのスキー客等が減少したため、前年に対して20.4%となった。4～6月は、台湾と韓国からの順調な入込み等により前年を上回ったが、原油価格の高騰から航空運賃に加算される燃油特別付加運賃（燃油サーチャージ）の値上げが続いたことや、金融危機に端を発した世界的な景気減速等により、7～9月が前年に対して13.3%、10～12月が前年に対して28.4%となった。

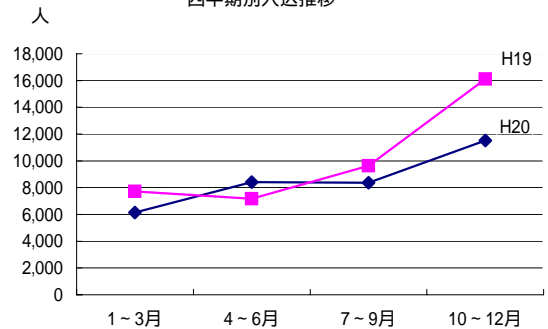
国籍別にみると、台湾が前年に対して10.8%、香港が前年に対して13.8%、金融危機の深刻化に伴うウォン安の影響等もあって、韓国は前年に対して31.0%となった。

地域	国籍等	H17			H18			H19			H20		
		日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計
北米	アメリカ		361	361		227	227	6	38	44	11	113	124
	カナダ											12	12
中南米	メキシコ											2	2
	その他											3	3
ヨーロッパ	イギリス					3	3				1	2	3
	フランス										3	2	5
	ドイツ		18	18		68	68		3	3	2	24	26
	イタリア												
	オランダ												
	スイス											2	2
	スウェーデン												
	ロシア											1	6
アジア	中国	176		176	132	12	144	45	105	150	1	56	57
	台湾	9,098	6,169	15,267	12,199	6,600	18,799	12,754	8,604	21,358	10,866	8,179	19,045
	香港	1,739	4,128	5,867	2,172	5,444	7,616	2,406	5,460	7,866	2,214	4,568	6,782
	韓国	52	3,740	3,792	304	6,918	7,222	1,062	9,396	10,458	489	6,731	7,220
	フィリピン											430	430
	タイ		165	165		4	4		96	96		98	98
	インドネシア											23	23
	シンガポール					88	88		358	358		229	229
	マレーシア		779	779		61	61		104	104			
	インド			648	648		292	292		208	208		127
オセアニア	オーストラリア					12	12						
	その他												
アフリカ													
不明			219	219		2	2				46	197	243
合計		11,065	16,227	27,292	14,807	19,731	34,538	16,273	24,372	40,645	13,634	20,804	34,438

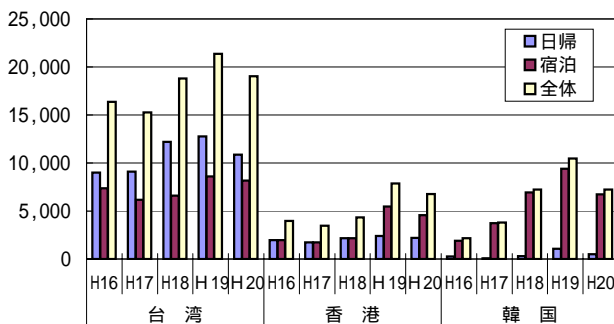
人 年別入込推移



人 四半期別入込推移



人 主な国別・年次別



年 年別日帰・宿泊者入込推移

